

令和2年2月定例教育委員会

- 開催日時 令和2年2月20日(水) 13時00分～15時20分
- 開催場所 教育委員室(県庁22階)
- 出席委員等 教育長 柴原 宏一
教育長職務代理者 川上 美智子
委員 江原 陽子
委員 中田 俊之
委員 市原 健一
委員 庄司 一子
- 欠席委員 委員 内藤 學

※ 事務局出席者については、別紙のとおり

○ 議 事

1 専決報告

非公開 専決第9号 教職員の人事の専決について (義務教育課)

2 議 案

公 開 第45号議案 県立特別支援学校教育環境整備計画の策定について (特別支援教育課)

公 開 第46号議案 令和2年度茨城県一般会計予算案に対する意見について (財務課)

非公開 第47号議案 令和元年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について (財務課)

非公開 第48号議案 茨城県知事等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例案に対する意見について (総務課)

非公開 第49号議案 学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見について (生涯学習課)

非公開 第50号議案 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見について (福利厚生課)

非公開 第51号議案 教職員の人事について (高校教育課)

非公開 第52号議案 教職員の人事について (高校教育課)

3 協議

非公開 1 令和2年度教育庁等部課長級職員の人事に係る協議について (総務課)

※ 非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開 会

教育長から開会の宣言があり、非公開審議項目についての提案がなされ、各委員から了承されました。

2 議 事

【公 開】

第 45 号議案 県立特別支援学校教育環境整備計画の策定について

(特別支援教育課長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(市原委員) つくば特別支援学校で校舎を増築するための用地取得を考えているというのですが、具体的にはいつごろから取り掛かる予定ですか。

(特別支援教育課長) つくば特別支援学校の場合は、敷地が広くありますので、まずは敷地内での増築が可能かというところを検討したいと思います。
具体的にはまだ決めておりません。

(市原委員) つくば(特別支援学校)は、特に知肢併設ということもあって、利用者が急激に増えたので、その辺りを考慮して、早急に対応していただければと思います。

(川上委員) 今回、小・中を中心に計画を立てていますが、高等部への進学率はどのくらいあるのですか。

(特別支援教育課長) 詳細な数字は持ち合わせていないのですが、基本的に中学部卒業生は高等部に進学している場合がほとんどです。

(川上委員) (ちなみに)水戸高等特別支援学校の倍率はどのくらいですか。

(特別支援教育課長) 今年はまだ正確な数字は把握していません。

(川上委員) そういう機能をもったところを(設置するため)今後検討していく必要もありますか。

(特別支援教育課長) 需要はありますが、各学校の高等部におきましても、就職の関係などについて対応しております。

また、昨年度から就職支援のためのコーディネーターというのを、3名採用しました。コーディネーターは各地区の拠点にいますが、コーディネーターの活躍もございまして、就職のための実習や見学など、そういう企業の数がどんどん増えておりまして、高等部の更に上に進むお子さんにも対応している状況です。

(江原委員) 就職支援コーディネーターが3名ということで大変いいことだと思います。今後も増やす方向でお願いしたいです。

(特別支援教育課長) 努力してまいります。

※ 第 45 号議案については、原案どおり可決されました。

(財 務 課 長) 資料に基づき説明

【主な質疑・意見等】

(市 原 委 員)

6 ページの「文化施設整備費」の中で、つくば美術館のカフェ空調機器更新工事ということで、予算を計上したことは、地元としてはありがたいのですが、つくば美術館は非常に狭あいで、展示物があまりない状態で、これといったイベントも開かれてないように思います。

知恵を絞っていただいて、うまく活用できると、場所的にも集客が見込める気もしますがいかがでしょうか。

(文 化 課 長)

平成 2 年の開館当時は自主企画ということで、展覧会等開いたりしたのですが、その後空調設備の不調や、集約化ということもあって、つくば美術館については、貸しギャラリーに特化した美術館として方向転換しました。

活用ということにつきましては、検討しているところです。

(庄 司 委 員)

9 ページの「世界へ羽ばたくトップアスリート育成事業費」について、ジュニアアスリートの発掘・育成等というのは、どのようなプロセスで発掘していこうとしているのですか。

(保 健 体 育 課 長)

茨城国体も無事終わりました、今度は国体に特化するのではなくて、本県からジュニアを育成して成年につなげていくというようにシフトしてきたところでは。

あとは、本県の強みといいますか、運動好きな子が多く、平均して体力も全国的に高いという子どもたちが、できるだけ早い段階から、運動能力の特性を生かして、全ての競技でどのようなことができるかということも試しながら来年度はやっていきたいと考えています。

(江 原 委 員)

7 ページの義務教育課関係で 2 点あります。

1 つは、「小中学校における遠隔教育実証研究事業費」で、今年度は何校か授業をされているところを視察する機会があったのですが、毎回、担当の先生方を中心に振り返りも徹底してやっていて、かなり進められてきたかなという感想を持ちました。こういう授業をいろんな方に見ていただけるよう「授業公開の実施」が加わったので大変ありがたいと思います。

もう 1 つは、「いじめ問題対策推進事業費」について、2 の「SNS 活用相談事業」で「拡充」とありますが、具体的にどのような拡充を考えていますか。

(義 務 教 育 課 副 参 事)

まず遠隔教育ですが、こちらは不登校を含めて様々な場合に対応できる有効な施策だと思っておりますので、たくさんの方に見ていただきながら、取り組みを県全体に広げていきたいと考えています。

SNS の活用事業については、今年度は夏季に 40 日間、冬季に 20 日間、の 60 日間実施しました。来年度は、4 期に分けて合計 100 日間実施したいと考えています。

(教 育 長)

4 期は具体的にいつですか。

(義 務 教 育 課 副 参 事)

1 期が 4/1 から 4/20 までの 20 日間。2 期が 5/1 から 5/20 までの 20 日間です。3 期が 8/10 から 9/18 までの 40 日間。4 期が 1/4 から 1/23 までの 20 日間で、以上 100 日間、開設する予定です。

(江 原 委 員)

4 月と 5 月に入れていただいたというのが、この時期は環境が変わる時期なので、とてもいいと思います。ぜひよろしく願いいたします。

(川上委員) 8ページの「外国語指導助手招致費」について、重点校に複数のALTを配置することは素晴らしいですが、ALTが配置されていない高校は、まだ結構あるかと思います。その辺りは今後どのようにするのですか。

(高校教育課長) 従来も1週間で何日という形で分けて配置はしていました。ALTが属するベース校があるのですが、ベース校でないところは、(ベース校から)派遣されるような形で従来もやってはおります。したがって、0日という学校は今までもありませんが、今後も割り振りというものを考えながら進めていきたいと思います。

(川上委員) 将来的には(学校に)常にいる状況を、作れるとよいかと思います。

※ 第46号議案 については、原案どおり可決されました。

【非公開】

第 47 号議案 令和元年度茨城県一般会計補正予算案に対する意見について

※ 第 47 号議案については、原案どおり可決されました。

第 48 号議案 茨城県知事等の損害賠償責任の一部の免責に関する条例案に対する意見について

※ 第 48 号議案については、原案どおり可決されました。

第 49 号議案 学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見について

※ 第 49 号議案については、原案どおり可決されました。

第 50 号議案 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例案に対する意見について

※ 第 50 号議案については、原案どおり可決されました。

第 51 号議案 教職員の人事について

※ 第 51 号議案については、原案どおり可決されました。

第 52 号議案 教職員の人事について

※ 第 52 号議案については、原案どおり可決されました。

専決第 9 号 教職員の人事の専決について

※ 専決第 9 号については、原案どおり承認されました。

協議 1 令和 2 年度教育庁等部課長級職員の人事に係る協議について

3 閉 会

教育長から閉会の宣言がなされました。

(別紙)

令和2年2月定例教育委員会 事務局職員出欠表

令和2年2月20日(木)

職 名	氏 名	出欠	代理者職氏名
総務企画部長	藤 田 昌 人	○	
学校教育部長	森 作 宜 民	○	
総務課長	入 野 浩 美	○	
教育企画監	木 内 規 雄	○	
財務課長	今 川 敬 秀	○	
生涯学習課長	田 口 克 弥	○	
福利厚生課長	田 口 明 宏	○	
文化課長	市 村 志 保	○	
高校教育改革・中高一貫校開設 チームリーダー	柳 橋 常 喜	○	
義務教育課長	岩 田 利 美	×	副参事 栗山 賢司
高校教育課長	秋 本 光 徳	○	
特別支援教育課長	内 桶 博 仁	○	
保健体育課長	益 子 雄 行	○	